

期間限定配信
2025/1/14～2/28



2024年度 公開がん看護セミナー がん患者への妊孕性支援

国立がん研究センター東病院での取り組み

がん患者の妊孕性支援は重要な課題であり、その理解や支援は看護師にも求められています。一方で妊孕性については、どのように患者さんを支援したらいいかわからない、他職種との連携が難しいなどと感じることはありませんか？

当院でも多職種で支援に取り組んでおり、その内容についてご紹介します。今回のセミナーを通して、一歩先の実践につなげてみませんか。



20min

医師から看護師へ伝えたいこと

～がん治療と妊孕性温存について～
医師：向原 徹（腫瘍内科 科長）



15min

薬剤師から看護師へ伝えたいこと

～性腺機能不全を引き起こす薬剤など～
薬剤師：米村 雅人（副薬剤部長）



25min

AYA外来看護師から伝えたいこと

～AYA看護外来の役割や実際の看護の紹介、患者が抱える問題など～
看護師：小田 夏実（副看護師長 がん看護専門看護師）



15min

看護師から伝えたいこと

～妊孕性温存への支援、事例を通して病棟での関わりなど～
看護師：埴 典子（副看護師長 がん化学療法看護認定看護師）

【視聴方法】

お手持ちのパソコン、スマートフォンにて、URLかQRコードへアクセスし、視聴してください。

<https://qr.paps.jp/7nZq3>



お問合せ

国立がん研究センター東病院看護部

〒277-8577 千葉県柏市柏の葉6-5-1

電話：04-7133-1111（代表） 副看護部長 近藤 美紀